社協
ふるいち
No.49
発行責任者
河野　敏弘

古市学区社会福祉協議会　会長就任にあたって

会長　河野　敏弘

古市学区社会福祉協議会の会長就任にあたりご挨拶申し上げます。

平素から、学区内住民皆様、地域の団体及び関係機関の皆さまにおかれましては私どもの事業推進に格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

近年社会福祉を取り巻く状況は大きく変革しつつあり、相互扶助から自立支援に舵を切りつつあるように感じています。

団塊の世代が75歳以上となり、高齢者の数・比率ともに増えている状況となっています。当然高齢者のみの世帯や一人暮らし世帯も増加し、それにつれて人からの支援が必要となる世帯が増加していますので、社会福祉協議会が進める共助への期待はますます高まっているものと理解しています。

こうした中、微力ではありますが以下の項目を基本に取り組みます。

① あなたとつくる、みんなで作る、支えあいの街をモットーとし安佐南区で一番住みよい町を目指す。

② 誰もが安全・安心してこころ豊かに暮らせる地域づくりを推進し、住民及び町内会及びその他各種団体との連携を図り、地域が最も必要としているものを把握し取り組みます。

終わりになりますが、持続可能な福祉システムを構築するために、各種団体及び三世代が一体となる効率的で効果的な運営を目指してまいりますので、皆様方の絶大なるご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

退任あいさつ

松本　晃幸

３年前に会長職を仰せつかりながら、社会福祉協議会というものを全く理解していなかったことを改めて自覚した次第です。諸先輩方や他の学区社協の会長さんなどから多くのことを学ばせていただきました。

古市社協は各種団体が活発に活動されており、社協としても助けていただいております。

また、松井市長が力を入れている「ひろしまＬＭＯ」についても、令和６年度に「おやじの会や子ども会連合会」などが中心に、「古市地区をはぐくむ会」として設立することができ、会長の今村悟志さんをはじめ「おやじの会」などの皆さんのご尽力に感謝申し上げます。

日本は、少子高齢化が一層進んでおりますが、令和７年３月末の住民基本台帳統計によりますと古市学区では世帯数は若干増加しておりますが、世帯人員で見ますと全世帯数の50％は１人世帯でいわゆる一人暮らしです。また、世帯数の75％が２人以下です。将来のこうした人たちを支える介護の問題も深刻になってきます。これからどう取り組んでいったらよいのか、学区の皆さんと考えていく必要があると思います。

最後に、新しい河野会長さんをはじめ古市社協へのご支援をよろしくお願いしまして、私の退任の挨拶といたします。

嚶鳴春秋

各地で地震が遭い続いており、また、日本に津波の被害が出るとの噂が観光客をも巻き込んで話題になっています。地面の下にいる大鯰が暴れ、地震が起きるという伝説は有名ですが、因果関係はどうなっているのでしょうか？事実色々な実験でも鯰には地震予知能力はあって、地震の起きる時には必ずよく暴れる事が解っています。

ヒゲのある魚は水圧の変化や地殻の変動、音など敏感で神経が発達しており、水中の音速は空気中の三倍速く伝わるため、いち早く地震の起きる音をキャチするものと思われます。長いヒゲを持つ鯰は非常に敏感で、外界のほんの小さな変化もすぐにあのヒゲでキャチします。両側にある側線も極度に発達しており、現代の緊急地震速報のように、既に起こっている地震を速く知らせてくれます。

（Ｆ・Ｔ）

ひろしまＬＯＭ（エルモ）古市地区をはぐくむ会
（古市地区のＬＯＭを振り返って）

早いもので発足してから１年経過しましたので、１年を振り返ってみます。

４月16→設立総会で承認　５月15日→広島市へ認定申請書を提出　５月24日→広島市から広島型地域運営組織「ひろしまＬＯＭ（エルモ）」に認定。ここから３世代交流事業、こどもの育成事業に取り組みました。

事業の実施にあたり、地域の各種団体と連携することにより「地域の絆」の大切さを感じました。

また、中学生・高校生・大学生がボランティア活動に参加してくれて、行事の企画や運営に興味を持っていただけたので、次世代の若者の育成が図れたことを感じました。

あさマルシェ

（３世代交流事業）

地域の各団体によるゲームコーナーや遠方からのキッチンカーなどで、子どもから年配まで幅広い世代が楽しめる内容となりました。このため、雨にもかかわらず約１０００人に来場いただき、古市地区を活性化できました。

また、近隣の広島経済大学に初めて出店いただき、若い人が増えたように感じました。

古市ハロウィンウオーク

（こどもの育成事業）

古市に関するクイズを地域の11ヶ所に掲示し、子ども達が古市の中を歩き回って、町を再発見する機会を提供しました。

当日は、緑道公園を会場として、ソフトボールチームによるストラックアウト等のゲームコーナーを設置しました。ハロウィンの時期でしたので、仮装して緑道公園を歩き回る子どもの姿が楽しそうでした。

緑道公園の遊具・ベンチのペンキ塗り事業

（こどもの育成事業）

子どもがイキイキと楽しそうに遊具にペンキを塗る姿がいたるところで見られ、公園内は寒さが吹き飛びました。自分の手でペンキを塗ることで、思い出づくりと遊具を大切に使用することを期待しています。

この事業にご協力いただきました株式会社八紘の皆様、ありがとうございました。

ふるいち防災フェスタ

（防災事業）

気象予報士・防災士の玖保陽子氏の講演会、炊き出し訓練、防災かるた、八木土砂災害のパネル展、消火訓練・ＡＥＤ操作訓練を実施しました。

スタンプラリー形式にすることで、子どもにも興味を持ってもらい参加が増えました。また、多くの方に炊き出しのカレーを食べてもらい、クイズで防災知識を楽しく学んでいただきました。

ひろしまＬＭＯ（エルモ）

古市地区をはぐくむ会

令和７年度の事業について

令和６年度に実施した事業を引き続き実施します。

新たに子どもの夏休み事業として、屋外での遊びを提供する「夏休みスペシャル」を企画しています。

また、昨年より好評の勉強する場所を提供する「夏休み宿題やっつけ隊」を企画しています。

恒例になり皆さまから楽しみにしていただいてます「古市花火大会」は、昨年度は１５０周年記念で大規模でしたが、今年は通常モードで実施します。

あさマルシェ

６月１日　猫本商事株式会社の駐車場で実施しました。

今年は天候にも恵まれ、約２０００人の方々にご来場いただき、大いに盛り上がりました。

夏休みスペシャル

今年は、水鉄砲大会とそうめん流しを実施しました。水鉄砲の熱い戦いの後に、冷たいそうめんが体に沁みます。夏休みだからこそ出来ることを楽しもう！

あさマルシェ

古市花火大会

今年も８月16日に実施しました。

今年は暑い夏でしたが、昼間は縁日で楽しんで、少し涼しくなる夜には、花火を楽しみました。

古市夏休み宿題やっつけ隊

夏休み終盤に、小学校に隣接した会議室を小学生に開放し、夏休みの宿題の片づけに取組みました。

宿題のお手伝いしてくれるのは、高校生・大学生の先輩方です。

子ども達は、分からないところをお姉さんやお兄さんに尋ね、問題が解決できてスッキリ！

古市ハロウィンウォーク

古市のまちに関するクイズを出題することで、子どもたちが古市のまちを再発見する機会を与えます。

また、緑道公園で各種団体によるゲームを楽しみ歩き回ることで、健康維持を図ります。

（10月25日予定）

緑道公園の遊具・ベンチのペンキ塗り

子どもたちが楽しみながらペンキ塗りをすることで、公園に愛着を持ってもらいます

遊具・ベンチもきれいになって、公園を使う人にも喜んでもらいましょう。

（12月予定）

ふるいち防災フェスタ

大規模な災害発生時に、地域で協力できるように訓練する場を提供します。

また、楽しみながら防災に関する知識を学び体験することで、いざという時に備えます。

（３月予定）

ダイアパレス中須　百歳体操立ち上がる！

古市あんしんネット運営委員会では、マンションでの高齢者の見守りが大きな課題となっています。令和６年度の重点項目として、集会施設があるマンションで百歳体操をきっかけに見守り活動に取り組むことにしました。

同年12月運営委員会と包括支援センター職員は、ダイアパレス中須の理事長に百歳体操の実施と集会施設の使用許可について協議。翌年１月にマンション理事会の賛同を得ました。

２月から包括支援センター職員が百歳体操の体験会を開催し、５月に参加者12名と世話人で「ダイアパレス中須　百歳体操」を立ち上げました。

現在は映像機器など参加者が持ち寄って使用していますが、令和７年度地域高齢者交流サロン運営事業・地域介護予防拠点整備促進事業の補助金制度を活用し、映像機器を購入する予定です。

今後は、百歳体操に加えて、サロン等高齢者が集う場を目指しておられます。

令和7年度総会

５月27日、総会を開催し、令和６年度決算報告・令和７年度収支予算等について、審議し、全会一致で承認されました。

令和６年度決算報告と令和７年度収支予算は、次のとおりです。

令和7年度収支予算　　単位　円

収入の部		支出の部	
科　目	予算額	科　目	予算額
前年度繰越金	635,933	管理運営費	60,000
共同募金安佐南分会	5,000	広報活動費	90,000
区社協助成金	510,470	福祉事業 (ひろしまLMO分)	35,000
協賛金	15,000	福祉のまちづくり 総合推進事業費	160,000
雑収入	1,065	学区取組活性化事業	50,000
地域団体連携支援基金	172,000	地区活動拠点整備事業	15,000
地区社協活動拠点 活性化支援事業	184,000	学区社協ブロック 連絡会推進事業	15,000
住民主体型生活支援 訪問サービス事業	188,000	ボランティア活動事業	80,000
合計	1,711,468	地域団体連携支援基金	172,000
		地区社協活動拠点 活性化支援事業	184,000
		住民主体型生活支援 訪問サービス事業	188,000
		研修会参加費	55,000
		事業負担金等	113,000
		雑費	15,000
		予備費	479,468
		合計	1,711,468

令和6年度決算　　単位　円

収入の部		支出の部	
科　目	決算額	科　目	決算額
前年度繰越金	759,140	管理運営費	162,598
共同募金	5,000	広報活動費	43,435
区社協助成金	507,430	福祉事業 (地域ふれあい事業)	35,000
協賛金	15,000	福祉のまちづくり 総合推進事業費	118,805
寄附金	0	学区取組活性化事業	51,550
雑収入	554	学区社協ブロック 連絡会推進事業	13,800
地域団体連携支援 基金	328,000	ボランティア活動事業	127,526
地区社協活動拠点 活性化支援事業	180,000	地域団体連携支援事業	331,577
住民主体型生活支援 訪問サービス事業	197,000	地区社協活動拠点 活性化支援事業	166,000
合計	1,992,124	住民主体型生活支援 訪問サービス事業	182,000
		研修会参加費	14,000
		事業負担金等	100,000
		雑費	9,900
		次年度繰越	635,933
		合計	1,992,124

◆ボランティアバンク古市

学区にお住まいの一人暮らしや病弱などの高齢者の日頃の生活等での困りごとを、ボランティバンクが解決します。

申込や問合せは、ボランティアバンクへ。

また、活動にご協力いただけるボランティアの方も募集中です。

ボランティアバンクまでお問合せください。

古市学区社会福祉協議会
電話　８７６－２３９０

◆高齢者対象の見守り　古市あんしんネット

見守り協力員が、見守り希望の一人暮らしの高齢者宅の「郵便受けに新聞や郵便がたまっていないか」など、ゆるやかな見守りを行っています。

また、年に一回地域包括支援センターの職員が訪問し、困りごとを聞いたり、介護保険申請の必要なサービス等の調整をします。

登録等についてはお気軽にお問い合わせください。

安佐・安佐南
地域包括支援センター
電話　８７９－１８７６

◆高齢者いきいき活動　ポイント事業

高齢者の社会参加を促進するため、健康づくりや介護予防などの活動にポイントが付与される「高齢者いきいき活動ポイント事業」が９月１日から始まっています。地域の清掃活動や百歳体操などに参加してスタンプを集めましょう。

編集後記

インターネット上では真意や根拠が不明な情報があふれている。捏造動画の多くが、生成ＡＩを使って作られたものだが、その技術には目を見張るばかりだ。素人でも、簡単に実在しない映像が作成できてしまう。

こんな時代だからこそ、正しい情報を見分ける力が必要になってくる。

①情報元を確認する。
②情報を照らし合わせる。（クロスチェック）
③証拠・データ・文献の有無を見る。
④感情的、扇動的な言葉に注意。（絶対、１００％等）
⑤論理性をチェック。（主張の飛躍、誤った因果関係等）
⑥ファクトチェックサイト等のツールの活用。

最後に、鵜呑みにしない習慣。

これら生成ＡＩの回答を、あなたならどう解釈するだろうか？　（Ｔ・Ｎ）